

一般社団法人 益田市スポーツ協会

—— これまでのあゆみ

旧益田市体育協会は、平成の合併により益田市・美都町・匹見町が一つになった。市民のスポーツの振興と、健康・体力づくりを図ることを目的に活動している。

令和2年6月に一般社団法人格を取得し、益田市スポーツ協会と名称も変更した。

—— 現在の状況

現在は、26団体が所属して、自主事業を展開している。3つの部会（広報・企画・研修）で事業計画の原案を作成し、団体単位ではなく、益田市全体に波及する事業も展開している。

通信を発行したり、のぼり旗を作成したり、自動販売機設置したり、部会から出たアイデアを実現している。令和4年から萩・石見空港マラソン事務局の委託事業を受けている。

—— これから

今後、少子高齢化が進み、人口が減少していく中で、団体単体ではなく、お互いが協力しながら地域を支えていく活動が必要と感じている。少しでも地域のコミュニティが活性化する工夫をしていきたい。例えば、ソフトバレーボール協会が、競技力向上だけを競う大会ではなく、そこに集まる人すべてをターゲットにした、スポーツマルシェを企画してくれた。スポーツをハブにして、地域がつながって、人がつながっていく活動を目指していきたい。それがこれからのスポーツ協会に求められていることだと思う。



スポーツ協会のぼり旗



スポーツ協会応援販機



親子イキイキ活動体操競技